

## 会 議 録

会議名	平成27年度 山陽小野田市男女共同参画審議会（第1回）	
開催日時	平成27年11月2日（月） 15時00分～16時20分	
開催場所	山陽小野田市役所3階大会議室B	
出席者	池田 容子、石川 宜信、吉村 公明、棟久 佳子、 山本シゲ子、大谷 春樹、前田 良一、村田 晴美、 恒松 和也、実谷 裕子	委員数 12名 出席者数 10名
欠席者	岡部 つや子、福永 香代	
事務局等	市民生活部長 小野 信、人権・男女共同参画室長 岩佐 清彦、 人権・男女共同参画室主査 亀田 由紀枝、 人権・男女共同参画室主事 飯塚 淳子	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 辞令交付</li> <li>3 市長あいさつ</li> <li>4 自己紹介</li> <li>5 会長・副会長の選任</li> <li>6 会長・副会長あいさつ</li> <li>7 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「さんようおのだ男女共同参画プラン 実績報告（平成26年度）」 および「さんようおのだ男女共同参画プラン 実施計画（平成27年度）」について</li> <li>(2) 「さんようおのだ男女共同参画プラン」スケジュールについて</li> </ol> </li> <li>8 閉会</li> </ol>	
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 辞令交付 (部長が代理でおこなった)</li> <li>3 市長あいさつ (部長が代理でおこなった)</li> <li>4 自己紹介 委員と事務局で自己紹介をおこなった</li> <li>5 会長・副会長選任 会長に山口東京理科大学の池田容子委員、副会長に山陽小野田市ふるさとづくり協議会の石川宜信委員が選任された</li> <li>6 会長・副会長あいさつ</li> <li>7 議題（1）</li> </ol>	

会長	<p>「さんようおのだ男女共同参画プラン 実績報告（平成26年度）」および「さんようおのだ男女共同参画プラン 実施計画（平成27年度）」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料①②を説明し、当室部分を抜き出した資料③を見ながら、さんようおのだ男女共同参画プランの冊子とあわせて主な部分を読み上げた。</p> <p>なお、審議会委員が入替り、新規の委員さんが多いため、今日の資料を見て、説明を聞いた上で、各施策の実績報告や実施計画について指摘や質問等があれば、後日別紙の質問表にて提出してもらい、次回の審議会で回答する旨を伝えた。</p> <p>続けて当室が、「男女共同参画社会の実現・推進」のために行う事業としては、主として3項目あることを、以下のとおり説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「女と男の一行詩」募集・冊子刊行事業</li> <li>② 「女性の日」事業</li> <li>③ 「市内の女性リーダーの方々からなる「女性団体連絡協議会」の事務局としての支援」事業</li> </ul> <p>（ほかに、DV相談窓口を担当している。また人権推進も担当しているため、「人権擁護委員さんとの連携」や「人権講座」や「ヒューマンフェスタさんようおのだ」なども含む。）</p> <p>①の「女と男の一行詩」については、資料5のデータ表を見ながら説明。入選者の作品展示については、10月2日～9日までおこない、応募者の年代からも、一定の啓発効果が出ていることを報告。今後地元からの応募を増やすために、担当者が認定事業者にお願いしにおくことを考えていることや、学校の出前授業にうまく一行詩を組み込み、学生さんの応募が増えるよう啓発活動することを報告した。</p> <p>②の「女性の日」事業について、「女性の日」とは男女共同参画社会の実現・推進を目指し、H22年に本市独自に創設された日で、毎年、効果的な講演会等の事業を実施していることを説明。H26年度は、女子中高生を対象に8月9日（土）に「女性のキャリアモデルから学ぶ！ 貴女のキャリアデザイン&amp;ライフプランニング」と題して、講演を企画したが台風の接近で、「中止」。27年度は、ターゲットを定めず、どなたでも参加できるよう、「天気を知って地域をまもる」と題した、講演会を行った。わかりやすいと大変好評だったが、男性の参加が少なく、アンケートには「女性の日」という名称では男性は参加しにくい等の意見もあった旨を報告した。</p> <p>③の市内の女性リーダーからなる「女性団体連絡協議会」の事務局として</p>

	の支援事業の詳細～年3回の講演・研修事業についての説明をした。
会長	何か質問はありませんか。
委員	市の男女共同参画の色々な施策を見て、行政も大変努力して頑張っているという事はわかる。 ただ山陽小野田市でも高齢化がかなり進んでおり、周りをみても高齢者ばかりで若い人が少ない。近くの小学校では生徒の数がどんどん減ってきている。こういった現状を担当の各課ではなく、市全体で考えるべきである。
委員	若い人たちの中にも、山口県～地元就職したくても、就職先が見つからない。雇用がないため都会にでてきているという現状がある
委員	地域の形態が変ってきている。市でも高齢化率が30パーセントを超えており、行政だけではなく、企業や市民を巻き込んで考えないといけないと思う。
委員	もはや、地域のコミュニティーが崩壊しつつある。
委員	市のどこかにモデル地区を作るのはどうだろうか。
事務局	まさに、今取り組んでいるいわゆる地方創生事業である。 少子高齢化、人口減少は当市のような田舎だけではなく、日本全国での問題になっている。現在およそ6万4千人いる当市の人口も、2060年には、4万人程度になるであろうという見通しもでている。他県や他市からの転入とかでは、全体の人口は変わらない～本当に必要なのは出生率を高めて、こどもが増えるような施策である。今、一生懸命に取り組んでおり、今後とも重要な課題である
委員	男女共同が叫ばれて何年もたつが、何も進んでいないような気がする。
委員	職員を含む市民の意見、特に女性の視点から発信できる場は、市役所の中にはあるのか。そのような体制作りはできているのか。
事務局	市の中に、部長級で構成する男女共同参画推進本部、課長級で構成する男女共同参画推進幹事会がある
委員	男性の育児休暇の取得率はどうか

事務局	平成23年度に1人いたが、それ以後、現時点に至るまでゼロである
委員	これこそ市が率先してやるべきではないのか。室としてどう動いているのか。
事務局	人事課に要望としてあげているが、各職場での仕事量等もあり、男性の育児休暇の取得に至っていない状況である。
会長	なかなか一筋縄にはいかない事案である。ほかにご意見があれば。
委員	行政だけではなく、われわれ市民も男女共同推進についての責務があることを、推進条例をみて始めて知った。ホームページや広報に載せる記事は、わかりにくいカタカナや専門用語を使わず、市民にわかりやすい誰が見てもわかるような言葉を使用してもらえるとより理解ができると思う。これは要望である。
事務局	了解しました。
委員	初めてプランをみたが、実施報告と実施計画とたくさんの施策があってよくわからない。冊子のページ数を記載してもらおうと、この内容はここだなとわかるのでお願いしたい。
事務局	次回からそのように工夫します。
委員	DV相談の数について、26年度は20件、27年度は現時点ですでに30件あるとのことだが、相談者の割合は、電話と来所でどのくらいか。また専門の相談員を置くと考えておられるのか。
事務局	割合は半分半分である。 相談員に関しては、人件費を伴うものであり、ここでいつからとは言えないが、室の意向としては状況を勘案し、いずれは置きたいと思っている。ただしあくまでも当室の要望である。 ただ、一般の職員は2、3年で異動する。相談内容は年々複雑化しており、相談に要する時間も長くなっている。引き続いた支援を続けていくには専門の相談員が必要であると当室は考えている。
会長	男女共同参画は徐々に進んでいくものなのかもしれない。みなさんから貴重な意見をたくさん聞くことができた。他に質問は。  な し

事務局	<p>なければ 議題2さんようおのだ男女共同参画プランの改定スケジュールについて事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>資料4を見ながら、さんようおのだ男女共同参画プランについてのスケジュールについて説明。</p> <p>平成28年度は、DV防止基本計画を策定し、あとは機構の部分修正をおこなうにとどめ、山陽小野田市第2次総合計画が平成30年3月に策定されるので、その計画の中での男女共同参画の位置づけや、整合性を図り、平成31年3月に全面改定した第2次改定版男女共同参画プランを策定することを再度報告した。</p>
会長	<p>意見があればどうぞ</p> <p>なし</p>
事務局	<p>来年度早々～4月か5月頃に各年代から無作為に抽出した市民1000人に対して、男女共同参画の意識調査アンケートを実施する予定である。内容等については次回の審議会で報告したいと思う。</p>
会長	<p>ご意見は</p> <p>なし</p> <p>8 閉 会</p>